

パブリックコメントで頂いたご意見

平成 25 年 6 月

国土交通省 中部地方整備局

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名（フリガナ）					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		団体職員	⑤年齢	61	⑥性別
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	いずれの方法も、既に議論検討されてきており、予算・工期・効果から現在の計画がベストと評価されたものであり、現時点での再検討は、更に工期を遅らせ予算を浪費していることである。 ダム以外の案は、効果的な洪水調整が不可能（調整池等は、洪水のピーク時に機能しない）また、他のダムの買い上げは、相手のあることであり、経済的・工期的に不合理。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	正常流量の補給は、低コストで瞬時に行なわれなければ、本来の機能が全うできない。今回提案されている対策のすべてにおいて、丸山ダムの再開発以上の期待は不可能である。下流地区での対策や自然を使った対策は、究極時には機能しない。さらに他力を利用することは、いざという時の対応ができない。			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		木曽川は山間部から扇状地を経て濃尾平野へ流れる川であるが、人口集中地区と山間部は近接しており、治水的にも正常流量の補給からしても、丸山ダム地点はベストな位置である。ここで再開発することは、経済的・効果的に最良の案である。			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		前述までの対策案などを検証した結果として、現計画（丸山ダムの再開発）がベストである。 下流の生活の安全を確保することが、第一であり、早く事業（現計画）を完成させるべきである。			
その他		法律的な手続きや、市民や関係者との議論の結果、認められてきた計画を、根拠もなく見直していることは、予算の無駄使いあり、工期が遅れたことにより、洪水被害が生じた時は、誰が責任をとるのか！結局市民が泣き寝入りすることになるだけである。			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について

新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名(フリガナ)		[redacted]			
②住所		(都道府県) [redacted] (市区町村以下) [redacted]			
③電話番号		[redacted]		メールアドレス [redacted]	
④職業		会社員	⑤年齢	58	⑥性別
					男
ご意見の項目		⑦ご意見 (200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1)治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	(要旨) 基本計画やその後の代替案の検討などにおいて、現計画が総合的に優位と判断し、公正な手続きを経て事業化され、その時々々に妥当性の検証、確認がなされているものと考えます。 地域(想定氾濫域)の方々が安全と安心をどう考え、どの程度の治水安全度を望み、費用負担(地域の、誰が、いくら)をどうするのかの議論、合意形成が、検証の前提として必要ではないかと考えます。 検証の前提として、地域(想定氾濫域)の方々が安全と安心をどう考え、どの程度の治水安全度を望み、費用負担(地域で、誰が、いくら)をどうするのかの議論、合意形成が必要ではないかと考えます。 提示されている治水対策メニュー(26方策の本曾川流域への適用性、治水対策案の一覧表)は、現計画と比較しいずれもコストの面、地域や生産活動などの点で影響が広範で多大であり、いずれの案も根本的な解決策ではないと考えます。 複数の対策案を組み合わせた治水対策案の一覧表(1~18)も、いずれも実現性に乏しい一般的な机上論、既往検討の内容で目新しいものとは言えないと考えます。 このような比較検討は、基本計画やその後の代替案などで繰り返されていると考えますし、現計画が総合的に優位と判断し、公正な手続きを経て事業化され、その時々々に検証、確認がなされているものと考えます。 新たな展開に向け、現時点での種々の方策を検討は実施しておくべきでしょうが、結論的には、現計画に替わる方策は基本的でないものと考えます。 別添に、方策等のいくつかについて、課題、問題点等の意見を列記します。			
1-2)流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	(要旨) 本曾川水系流域の土地利用、水利用の現状、歴史的経緯などからも、現実的なものとして現計画に優るものはないものと考えます。 「関係者調整」が書かれていますが、水問題の歴史的経緯、利害関係の複雑さなどから、「調整」一言で表すほど、各課題、問題の解決は容易でないと考えます。 小規模な水資源開発の代替案の比較対象として考えられますが、いずれの対策案も大規模での代替案として適当とは考えにくいところですが、対応策での純粋な技術面においても、検討が十分でない事項が多いと思いますし、概算コストに含まれる以外の未計上コストについて注釈がありますが、誤解を与えないよう、それらを含めた比較も必要と考えます。 本曾川水系流域の土地利用、水利用の現状、歴史的経緯などからも、現実的なものとして現計画に優るものはないものと考えます。 別添に、方策等のいくつかについて、課題、問題点等の意見を列記します。			
1-3)本曾川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		(要旨) 景観的、経済的損失など有形、無形の財産価値も含めた評価は必要と考えます。水利権量と現実の利水安全度の評価、周知も重要と考えます。 コスト(完成するまでの費用)を優先した方策(組み合わせ)が提示されていますが、例えば、河道掘削は名勝本曾川の貴重な景観と観光資源としての価値、歴史的文化的資産を失わせるものです。 地域はもとより関係省庁(文化庁)は認めるとは考えられませんが、景観的損失、経済的損失など有形、無形の財産価値も含めて評価すべきと考えます。 既得水利の合理化・転用の案は、水利権量のみをみれば潤沢にあると考えますが、常時全量取水が保障されているわけではなく、現実の実質利水安全度は相当低いと思われるので、この点の評価や周知も水利用を考える上で重要と考えます。			
2)治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的な提案について		(要旨) 治水のハード対策には限界、低平地の土地利用のリスクの検討、周知も必要と考えます。利水は水系全体での完全プール化など大胆な発想も根本的な解決策としてあるのかもしれない。 (治水) 計画規模を上回る洪水(超過洪水)はいずれは発生し、ハード対策のみでは限界(土地利用、財政など)もあると考え、逃げる(命を失わない)、致命的災害とならないソフト対策、低平地での土地利用(住居、産業)の被害、災害リスクの議論、検討、周知も必要ではないかと考えます。 (利水) 現在の阿木・味噌・岩屋・(牧尾)ダムのプール運用を発展させ、本曾川道水路や発電ダムなど、水利用を水系全体で全てを完全プール化(バックアロケーションで既存分を清算)など大胆な方策で根本的な再構築が考えられます。			
その他		(要旨) 予備放流方式の実施に必要な十数時間先までの精度の高い流出予測手法や予備放流実施上の課題も多いと考えられ、現時点では困難と考えます。 変更計画(案)として、治水容量確保のため予備放流方式を取り入れ、この容量1500万m3は不特定容量をあてるとし、これによりダム嵩上げ高を約4m低くする案が示されています。 予備放流方式は、限られた貯水池容量配分のかねて洪水調節容量を確保する方策として事例ダムはありますが、無降雨(好天時)での急激な増水への河川利用者に対する安全確保や流出量の予測、予備放流所要時間、降雨の空振りによる損失補てん(発電、代替水源)の課題などもあり、実施例は皆無に近いのが現状と想われます。 規模にもよりますが予備放流には準備から実施、完了までには少なくとも十数時間は必要と考えられます。 気象予測の精度が向上してきているとはいえ、現状では5~6時間先の予測が風速(それでも外れる)と思われ、雨降のない無降雨の段階で十数時間先の精度の高い予測は非常に困難と考えます。 ダム管理者が予測のはずれのリスク、責任を負うことのないそのような予測手法が現にあるのでしょうか。			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について

新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名(フリガナ)			
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)
③電話番号		メールアドレス	
④職業		会社員	⑤年齢 58 ⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見 (200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)	
1-1)治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	【治水の複数の対策案に関する意見(26方策の適用性)について】 対策番号(1~18)の元となる、1から25の方策(0. ダムにも課題はありますが)は、机上案としてはともかく、いずれも課題、難題のあるものばかりです。 例えば1. ダムの有効活用は、利水容量(発電)の65%買い上げは数字合わせの案で、電力会社が容認するとは考えられませんが、自然エネルギー活用の方針にも反するのではないのでしょうか。 2. 遊水地は最も治水対策を必要とする美濃加茂、坂祝地域には効果はありませんし、三派川より下流部は流下能力的に必要なのでしょうか。 3. 放水路は、上流では約10km、内径約10m、20条のトンネル掘削、このような案は方策として、配置、施工、維持管理などの点においても非現実的ではないのでしょうか。 4. 河道掘削は、貴重な観光、景観資源を消滅させるもので、地域はもとより関係省庁(文化庁)は認めるとは考えられません。 7. 河道内の樹木伐採は、伐採では効果は一時的で数十年で再樹林化し、完全抜根の永久的な継続が必要でしょう。1回の伐採費をのみを計上しているとは思いますが、伐採の頻度、伐採計画対象期間、1回あたりの費用はどのくらいでしょうか。 その他にも意見は沢山ありますが、書ききれませんので、この程度とします。	
1-2)流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	【利水の複数の対策案に関する意見(14方策の適用性)について】 対策番号(1~9)の元となる、1から12の方策(0. ダムにも課題はありますが)は、治水と同様に机上案としてはともかく、いずれも課題、難題のあるものばかりです。 例えば3. ダム容量の買い上げは、約1500万m³で水系の全利水容量(発電)からすれば可能性のある数字ですが、このこの容量を電力会社が従属発電を容認するのか、自然エネルギー活用の方針の中でどうなのでしょう。 必要容量1500万m³としていますが、開発地点(取水地点)により開発可能水量は変化すると思います。どの地点での水開発を想定されているのでしょうか。 4. 水系間導水は、矢作川水系自体が渇水頻発河川ですが、水計算で可能との結果が出ているのでしょうか。現時点には困難と思われる。 5. 伏流水は、供給源は木曽川水系ですが、深層からの大量の取水は地盤沈下や長期的には枯渇、浅層からの主取水では、地盤沈下や河川表流水の減少を招く恐れがあります。実管理として、「影響を与えないように配慮しつつ」本当にできるのでしょうか。 7. 海水淡水化は、高濃度の塩水の環境への影響は、どの程度かの事例がないと判断できませんし、大量の淡水化は高濃度塩水の処理、設備費用等が、現実的か疑問があります。 8. 水源林の保全は、良好な土壌の保水機能は期待できるとしても、渇水時には森林は地下水を吸い上げ流況の安定とならず、河川流量をむしろ減少させる研究成果もあり、「緑のダム」の過度の期待、誤解を与えるのではないのでしょうか。 その他にも意見は沢山ありますが、書ききれませんので、この程度とします。	
1-3)木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について (一部再掲)		河道掘削は名勝木曽川の貴重な景観や観光資源としての価値、歴史的文化的資産が失われます。 景観的損失、経済的損失など有形、無形の財産価値の評価も必要と考えます。 既得水利の合理化・転用の案は、常時全量取水が保障されているわけではありませんし、現実の実質利水安全度は相当低いと思われます。この点の評価や周知も水利用を考える上で重要と考えます。	
2)治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について (一部再掲)		(治水) 整備目標(戦後最大規模の洪水(S58.9))のハード対策が提示されていますが、計画規模を上回る洪水(超過洪水)はいずれは発生し避けられません。ハード対策のみでは限界(無限の計画規模、土地利用、財政など)もあると考えます。 逃げる(命を失わない)、致命的災害とならないようなソフト対策や、低平地の成り立ち、そこでの土地利用(住居、産業)の被害、災害リスク(水害履歴など)もあわせて議論、検討、周知も一方で必要ではないかと考えます。 (利水) 水問題の歴史的経緯、利害関係の難しさから実現性は困難と考えますが、現在の阿木・味噌・岩屋・(牧尾)ダムのプール運用、木曽川道水路や発電ダムなど上水、工水、発電、不特定など多目的な水利用を、水系全体で完全プール化(バックアロケーションで既存分を清算)するなど、大胆な方策での抜本的な再構築が考えられます。	
その他		一般市民に広く周知理解(少しでも)してもらい、意見を集めたい思いはわかりますが、添付されている資料などは河川工学(特に治水計画、ダム計画)に相当熟知した者でなければ理解できない内容です。 基礎知識、情報など十分な蓄積のない者の的確な判断は非常に困難で、社会資本整備(治水・利水等河川事業)に対する誤った認識や誤解を助長しかねないことも考えられます。	

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
 新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名 (フリガナ)					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		会社員	⑤年齢	60歳	⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	費用対効果、完成までの期間、環境への影響度など、総合的に見て、治水対策メニュー (26方策) の中で、既設丸山ダム嵩上げ案 (新丸山ダム変更計画案) が、最も実現性の高い方策と考えられます。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	費用対効果、完成までの期間、環境への影響度など、総合的に見て、流水の正常な機能の維持対策メニュー (14方策) の中で、既設丸山ダム嵩上げ案 (新丸山ダム変更計画案) が、最も実現性の高い方策と考えられます。			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		特になし			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		特になし			
その他		3.11東日本大震災以降、想定外の・・・は通用しない。実現性のある現実的な治水・利水対策により早期完成を望みます。			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名（フリガナ）					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		会社顧問	⑤年齢	68歳	⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	他既設ダム活用案はダムに頼る矛盾及び貴重な水力エネルギー確保の観点、河道掘削・引堤案は名勝地の保全の観点等から、放(捷)水路案は余りに非現実的であることから検討対象として不適當。堤防かさ上げ案は検討対象として不適當とまでは言わないが、安全のために万一の場合の危険性を高めてもやむを得ないとする地域全体の合意形成をどのように達成するかが大きな問題。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	貯水池などの水源施設を別途新たにつくる対策案は何れもこの地域においては非現実的で検討対象として不適當。既設ダムの容量買い上げ、水系間導水も結局はダムに頼ることに変わりはなく不適當。他の案についても実現可能性の問題等より不適當と言わざるを得ない。1)の対策案としての新丸山ダムに流水の正常な機能の維持を図るための容量を確保する案でよい。			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		木曽川の戦後最大規模の洪水をもたらした昭和58年出水から間もなく30年を迎える。新丸山ダムは、今すぐに建設が進められてもこの先20年~30年という長年月が必要とのことである。資料より昭和58年出水は流量確率1/50とのことであり、同規模あるいはそれを上回る洪水発生の恐れは常に存在する。実現可能性、時間軸の評価をより重視して検討してほしい。			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		なし。整備計画案で早期に建設を進めてほしい。			
その他		既設の丸山ダムを活用して木曽川の治水機能の強化、貴重な水力エネルギーの増強にも資する新丸山ダムの建設は早期に着実に進展させるべき事業である。安全の確保は国に課せられた最低限の責務であり、現下の財政事情に鑑みコストの削減に努め、より安全な木曽川の早期実現を期待する。			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
 新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名 (フリガナ)					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		会 社 員	⑤年齢	66	⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	そもそも何のための対策案なのか。すべての代案が原案より期間、費用とも大であっても対策案となり得るのか。 他管理者施設の用途変更とか丸山ダム以外のダムのかさ上げ等検討にも値しないと思われる。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	不特定容量の確保は河川管理者がその河川内で確保すべきものであり、河道外施設を使ったり、地下水や海水でまかなうべきものではなかろう。			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		新丸山ダムは木曽川本川に残された数少ない洪水対策のための施設であり、また木曽川では、これまで水開発が優先された結果維持流量の確保が遅れており、そのためにも 丸山ダム再開発に期待したい。			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について					
その他		再生可能エネルギーが見直されている昨今、発電容量を買い取るという発想は如何なものか。			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について

新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の複数の対策案について

①氏名 (フリガナ)					
②住所		(都道府県)	(市町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		会社員	⑤年齢	64歳	⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載してください)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1～18)	各案には次のような課題があります。今回の整備計画はダムの嵩上げであり環境への影響は少なく、又費用も少なくて工期も短いとのことであり適切と思います。 1. 発電は今後もますます必要である 2. 15. 費用が多額で工期も長い 3. 4. 6. 7. 8. 9. 14. 16. 上流部の溪谷美がそこなわれる 5. 多数の橋梁架替えや家屋などの移転で費用が多額である 10. 上流部の溪谷美がそこなわれ、又多数の橋梁架替えが必要になる 11. 新規のダム建設であればこの案が適切と考えるが、今回は嵩上げである 12. 発電は今後もますます必要であり、又上流部の溪谷美がそこなわれる 13. 多くのダムで対処することになり、又上流部の溪谷美がそこなわれる 17.18. 貯留等の施設設置がよく理解できない、又上流部の溪谷美がそこなわれる			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1～9)	各案には次のような課題があります。丸山ダムでは既に用地買収、付替道路等が施工されており、治水対策とともに維持流量が確保されれば良いと思います。 1. 6. 設置先での影響が心配され、又費用が多額である 2. 9. 多くの箇所で工事等が必要になる 3. 発電は今後もますます必要である 4. 取水制限が発生している河川に影響を及ぼしてはいけない 5. 地盤沈下が発生している地域があり、地下水取水は好ましくない 7. 費用が多額である 8. 関係者との調整が心配される			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		特になし			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		特になし			

その他	私は木曽川沿川のある市に居住していた１人として、技術的なことはあまりわかりませんが、今回丸山ダムの嵩上げ事業に対する治水対策、流水の正常な機能の維持に対する多数の対策案を読み、感じたことを記載させていただきました。
	自然災害に対し万全な対処ができないことは誰しも承知をしているし、又近年、対策工事に対し自然を壊さないように、あるいは自然に戻すことが叫ばれている。 今回の件で私が思ったことは ①木曽川上流部の溪谷はこわさない方が良い ②発電は今後もより必要になってくるので減らしてはいけない ③対策工事は極力現河川内で施工することが望ましい ④少ない費用で短期間で対策工事を終える 以上の結果、今回の整備計画はダムの嵩上げであり、ダムを新設するような環境への影響はあまりなく、又費用は少なく工期も短いとのことであり適切な計画だと思う。

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について

新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名(フリガナ)			
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)
③電話番号		メールアドレス	
④職業	会社員	⑤年齢	59 ⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見	
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)	
1-1)治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	新丸山ダムは、木曽川本川にあり流域面積が2409km ² と大きく、犬山地点効果量が3200m ³ /sと既設岩屋・阿木川・味噌川ダム(犬山地点効果量3ダムで800m ³ /s)の12倍(3200÷800×3)と治水効果がきわめて大きい。他の代替案は、コスト・工期とも大きいか不確定であり、新丸山ダムの変更計画案を早急に決定し、木曽川流域の治水安全度の向上を図って頂きたい。	
1-2)流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	木曽川流域は、近年の少雨化傾向等により、たびたび渇水に見舞われ、平成6年には約300億円の渇水被害が発生しています。新丸山ダムの不特定容量1500万m ³ により、成戸40m ³ /sを確保し、利水安全度の向上を図ることが急務です。他の代替案は、コスト・工期とも大きいか不確定であり、新丸山ダムの整備計画案を早急に決定し、木曽川流域の利水安全度の向上を図って頂きたい。	
1-3)木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		丸山ダムは、流入量が少ない時は、関西電力がゲート操作を行い、洪水量に達すると国土交通省がゲート操作を行うと聞いています。新丸山ダムは木曽川本川にあり流域面積が2409km ² と大きく、S58年洪水では8200m ³ /sもの流入量があり、新丸山ダムの予備放流操作、洪水調節操作を確実にするためのソフト・ハードの整備を万全に行って頂きたい。	
2)治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		特になし	
その他		丸山ダム建設時に水没し、移転した方々が、新丸山ダム建設にあたって、平成4年3月に補償基準が妥結し、再度水没を余儀なくされ、再移転されたと聞いています。これらの方々のご労苦に思いをいたし、木曽川流域住民の生命と財産を守る新丸山ダムの変更計画案を早急に決定し、進めて頂きたい。	

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について

新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名（フリガナ）					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		会 社 員	⑤年齢	5 9	⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	対策案 1 から対策案 1 8 まで、すべて実現不可能もしくは、現実的な対策であるとは思えない。 電力事情が厳しい中での既存の発電容量の買い取りとか、新たな用地買収を伴う案よりも、用地補償が完了間近な現河川整備計画（予備放流方式）を推進することが最も妥当と思う。 重要な木曽川の治水対策を、このような検討で徒に時間を空費することは許されないことであり、現計画で早期に事業を再開することを望む。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	対策案 1 から対策案 9 まで、コストや工期面で現実的な対策ではない。例えば、電力事情が厳しい現在、発電容量の買い上げなど非現実的である。 また、定量化困難な方策は、代替案として考えるべきではなく、一定の効果があるとすれば、渇水リスク低減の為の余裕として考えるべきと思われる。 従って、このような検討は早期に切り上げ、提案された変更計画（案）で、早期に事業を再開、推進することを望む。			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		無し			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		無し			
その他		無し			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について

新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名(フリガナ)					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		会社員	⑤年齢	68歳	⑥性別 男性
ご意見の項目		⑦ご意見 (200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1)治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	58年の洪水で美濃太田市や坂祝町が洪水で水に浸かっているテレビ画面を思い出します、川からかなり高いところにある町とと思っていましたが現実に浸かりました私が住んでいる岐阜市は堤防より低いところで堤防が決壊すれば当然のことと思っています。やはり木曽川は大きな水がでると言うことを知り、早く安全な川にして頂きたいと思っています。1. 利水ダムの容量買い取り・電水力ダムの運用が出来なくなる。2. 放水路は困難3. 河道掘削・日本ラインが困難4. 引堤等・・・堤防区間の長い延長を実施するには超年月とお金がかかり治水効果を上げることにならないと思います。洪水を上流のダムでコントロールするより出来るだけ平野に近いところで調整することが必要だと思います。			
1-2)流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	木曽三川の水が少なくなり水道や工業用水そして農水が節水し給水車に群がる住民が全国各地に広がった状況をたびたび見かけました。岐阜市内は渇水時といえども長良川の川底から取水しているため水道で節水した記憶はありません。木曽川を歩いて渡れる渇水がありました、その時は木曽川では節水が行われ水不足が発生していました、人も生物も水不足に悩まされています。この解消に最大限の努力をして頂きたいと思います、いろんなケースで検討が行われていますが必要な水を確保するためには人の財産を当てに利用するものでなく自分自身で行うことが最善であり、まずは実施できる効率の良い水源対策で実施して頂きたい。			
1-3)木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		木曽川流域の特性としては木曽三川の全体としてとらえるべきもので一つの河川のみで評価するものでないと思います、濃尾平野は三川によって作られ、洪水災害も水利用もされてきました、水源が木曽川であれ揖斐川であれ運命共同体の三県一市で受ける評価をすべきだと思います。			
2)治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		2ないし3年前だと思いますが金華山に穴を開け水道の貯水池を拡大しました。木曽川と飛騨川の合流する今渡ダムの山の下に巨大貯水池1Km四方の穴で深さ20メートルならば2000万トンの容量が出来ます掘削土は低い土地の埋め立て長島輪中を全部埋める、土砂運搬は河川舟運利用なんて発想すればおもしろい多目的地域開発が出来ますかも……。何という空想ですかね			
その他		新丸山ダムの建設とは別に動いている徳山ダム水源の運搬水路として木曽川導水事業と合わせた建設評価を行うことも必要だと思います			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名（フリガナ）					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		無職	⑤年齢	62	⑥性別 男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	私は、昭和58年の洪水の被害者です。河川激甚災害対策事業の築堤にあたり用地も提供しました。当時、築堤と新丸山ダムがセットで今後二度と災害が起きないようにとのことで進められていると聞いています。今になって、名勝木曽川を掘削する対策案（3.4.6.7.8.9.10.12.13.14.16.17.18）や堤防かさ上げ対策案（5.11）が案として計画されることに国の姿勢が疑われます。他の対策案も費用が莫大であり、工期も長い。一番効果的な新丸山ダムの完成を望みます。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	国の見識を疑うような長期計画や莫大な予算がかかる対策案ばかりである。 なお大震災後、水力発電は見直されると思いますので、そちらの検証を進めることが肝心です。			
1-3) 木曽川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について		ダムが多いため、以前のように玉石が中流に来なくなり、川原が砂丘化し、土壌は富栄養価して柳、アカシヤなどの高木や外来の草花、竹が繁茂して、川岸に近寄り難くなってきている。 木曽川は、昭和6年に河川の部で日本一の美しさとして日本八景に選ばれている。その自然は絶対に守らなければいけない。			
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		木曽川流域の人工林の自然林化への移行。 休耕田を調整池として有効活用。 調整池として整備した池が、常に満タンの水であることが多いので、晴れ間に必ず池の水を空にするよう指導する。休耕田も、雨の時だけ、貯まるよう工夫する。			
その他		東日本の大震災の例が、日本中どこで起きてもおかしくない状況です。58年の大洪水は未曾有の雨の一言で終わってはいけません。今年は、ゲリラ豪雨が日本中で起きている。想定外という言葉は、今は死語です。想定外を想定して災害を今後起きないようにして下さい。			

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
 新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名(フリガナ)					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		—	⑤年齢	—	⑥性別
					—
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1,12)	【要旨】 水力発電所は、純国産のCO2を排出しない「再生可能エネルギー」として重要な電源であり、安易な発電容量の治水他への買い上げは、既設発電所の運用に多大な影響を及ぼすことから、弊社として容認できない。 また、電気事業における監督官庁である資源エネルギー庁等を含む関係者間で十分な調整などがなされないまま、次の段階へ進むことのないよう強く要望する。 【意見】 水力発電は、エネルギー基本計画を始めとしたエネルギー政策において、「エネルギー自給率の倍増」、「自主エネルギー比率の向上」、「再生可能エネルギーの導入拡大」といった方向性が示されている中で、純国産のCO2を排出しない「再生可能エネルギー」として重要な電源である。 特にダムを伴った貯水池式調整池式の発電所で発電容量を持っていることは、電力需給が逼迫する夏場の供給力の確保、年・週間調整や急激な需要の変動への追従等、電力系統の安定運用に重要な役割を果たしており、今後再生可能エネルギーの導入が進む中、水力発電の役割の重要性は更に高まってくる。 また、東日本大震災後、電力使用制限令が発動されるなど、電力需給バランスは逼迫した状態となり、国のエネルギー政策についても再生可能エネルギーの導入に向けた取組みは一層高まっていくものと考えられる。 このような社会情勢の中、国の政策として総合的に公益と便益を比較衡量の上、適切な判断が行われるためにも、発電容量の治水他への買い上げによるエネルギー政策への影響等については、電気事業における監督官庁である資源エネルギー庁等を含む関係者間で十分な時間的尤度をもって調整されることを強く要望する。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (3)				

1-3) 木曾川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について	—	
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について	—	
その他	—	

(意見提出様式)

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討に関する意見募集について
新丸山ダム建設事業の治水及び流水の正常な機能の維持の対策案について

①氏名 (フリガナ)					
②住所		(都道府県)	(市区町村以下)		
③電話番号			メールアドレス		
④職業		市議会議員	⑤年齢	58才	⑥性別
					男
ご意見の項目		⑦ご意見			
		(200字を超える場合は、200字以内の要旨も記載して下さい)			
1-1) 治水の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~18)	想定外が発生する今日、 現計画+予備放流を取り入れるのがベストである。 現在予備放流の更張もこれでは不可能であり、机の上の計算だけで進めたくない。			
1-2) 流水の正常な機能の維持の複数の対策案に関する意見について	対策案番号 (1~9)	早期の現計画推進されることを期待する。			
1-3) 本曾川流域の特性を考慮し、さらに評価すべき点などの意見について					
2) 治水及び流水の正常な機能の維持の対策案の具体的提案について		河内川排水は丸山ダム工事の後で済むべく、支流に対する配慮もお願いいたします。			
その他		自然豊かな日本ラインの奇岩の堰削は反対である。 、堰削町一色の堰削は緑化希望が浸透している。			